

議 事 録

会 議 の 名 称	第8回小美玉市小学校（小川小学校・橘小学校）統合準備委員会																																							
開 催 日 時	平成28年9月28日（水） 19時00分～																																							
開 催 場 所	小川総合支所 3階 大会議室																																							
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">伊野 勝亮</td> <td style="width: 25%;">東 邦彦</td> <td style="width: 25%;">千葉 栄子</td> <td style="width: 25%;">川名 美佐</td> </tr> <tr> <td>藤崎 剛</td> <td>岡根 典子</td> <td>埴 学</td> <td>代々木 孝</td> </tr> <tr> <td>竹内 文枝</td> <td>高野 一郎</td> <td>稲田 雅志</td> <td>柏 敬祐</td> </tr> <tr> <td>久保田輝男</td> <td>水内 幸恵</td> <td>平塚 健一</td> <td>小島 健一</td> </tr> <tr> <td>平本 敏彦</td> <td>長島 功</td> <td>近藤 貞夫</td> <td>藤井 敏生</td> </tr> <tr> <td>笹目 雄一</td> <td>谷仲 和雄</td> <td>植木 弘子</td> <td>長島 主</td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">小川錬太郎</td> <td style="width: 33%;">山中 光枝</td> <td style="width: 33%;">宮司 瞳</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">加瀬 博正</td> <td style="width: 25%;">長谷川正典</td> <td style="width: 25%;">石田 進</td> <td style="width: 25%;">中村 均</td> </tr> <tr> <td>比気 龍司</td> <td>植田 薫</td> <td>田山 伸一</td> <td>外之内信浩</td> </tr> <tr> <td>戸塚 聡</td> <td>田村 直弥</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	伊野 勝亮	東 邦彦	千葉 栄子	川名 美佐	藤崎 剛	岡根 典子	埴 学	代々木 孝	竹内 文枝	高野 一郎	稲田 雅志	柏 敬祐	久保田輝男	水内 幸恵	平塚 健一	小島 健一	平本 敏彦	長島 功	近藤 貞夫	藤井 敏生	笹目 雄一	谷仲 和雄	植木 弘子	長島 主	小川錬太郎	山中 光枝	宮司 瞳	加瀬 博正	長谷川正典	石田 進	中村 均	比気 龍司	植田 薫	田山 伸一	外之内信浩	戸塚 聡	田村 直弥		
伊野 勝亮	東 邦彦	千葉 栄子	川名 美佐																																					
藤崎 剛	岡根 典子	埴 学	代々木 孝																																					
竹内 文枝	高野 一郎	稲田 雅志	柏 敬祐																																					
久保田輝男	水内 幸恵	平塚 健一	小島 健一																																					
平本 敏彦	長島 功	近藤 貞夫	藤井 敏生																																					
笹目 雄一	谷仲 和雄	植木 弘子	長島 主																																					
小川錬太郎	山中 光枝	宮司 瞳																																						
加瀬 博正	長谷川正典	石田 進	中村 均																																					
比気 龍司	植田 薫	田山 伸一	外之内信浩																																					
戸塚 聡	田村 直弥																																							
協 議 案 件	<ul style="list-style-type: none"> ・校名の選定について ・専門部会について 																																							
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 他)																																							
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																							
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)																																							

【委員長あいさつ】

この会議に先立ちまして、設計の仕様の打ち合わせを行ないました。子ども達がより良い環境で学校生活を送れるよう、設備などの詳細についても進めています。今回は、校名の選定がメインになってくるかと思しますので、よろしくお願いします。

【協 議】

(1) 校名の選定について

委員長 校名の選定について、事務局より説明をお願いしたい。

資料1、2に基づき、事務局より説明

事務局 7月6日開催の第7回統合準備委員会で決定された校名募集要項に基づき募集を行った。募集の期間は、平成28年7月20日から9月1日。募集の対象は、小川小学校・橘小学校・小川南中学校の児童・生徒及びその保護者、卒業生、並びに当該学区の住民とした。周知方法は、市のホームページに掲載のほか、児童生徒及び地区住民に応募用紙を配布した。また、公共施設6ヶ所に応募箱と応募用紙を設置した。

募集の結果を説明したい。応募総数は231通。有効が213通、無効が18通だった。資料に記載はないが、児童からの応募が176通、一般からの応募が55通あった。応募種類は106案あった。また、校名案募集結果を9月9日に各委員へ郵送した。各委員には、その中から3点ずつ選定していただいて9月23日までに返信いただいた。それを集計し、得票上位5位までの案を選定した。この選定結果については、本日配布した資料2をご覧ください。

資料2、校名候補選定結果は、得票上位5位までの集計を行った結果となっている。得票順位4位、5位において、同じ得票数となった校名候補が複数あったため、校名候補は15案となった。

資料1に戻っていただきたい。この後の選定方法は、前回の第7回統合準備委員会において、得票上位5位までの案から1案の校名候補を選定するにあたり、話し合いを行い、決まらない場合は投票によって決定すると確認いただいている。本日は、資料2の校名候補15案から最終的に1つの校名を選定していただきたいと思う。

委員長 選定方法は、まず話し合いで決めることになる。委員からの意見をいただきたい。

委 員 公募の結果、「小川南」という候補が多かったということがあり、私は「小川南」を挙げた。また、各委員の選定結果を見ると、「小川南」が多く得票を得ているので、「小川南」を校名候補として挙げたいと思う。

委 員 住民の応募数において、「小川南」が多かった。これがベターではないかと思う。

委 員 私も「小川南」が良いのではないかと思う。話し合いで決まらなかった場合は、準備委員会の中で投票ということか。

委員長 そのようになる。
なかなか別の意見を出すことも難しいかと思うが、他に意見はどうだろうか。

委員 やはり「小川南」が一番聞き慣れている。また、中学校も小川南中学校という名称であり、将来的に中学校と小学校は小中一貫となる学校なので、それがベストなのではないかと思う。他の委員の意見も聞かないと分からないが、私個人としては「小川南」小学校が良いのではないかと考えている。

委員 小川南が良いのではないかと思うが、私は水翔館を挙げていた。小川南が一番良いのではないか。

委員 やはり小中一貫という展望がある。

委員 小川南が良いのではないか。しかし、ここで「小川南」小学校とすると、北中学校区にできる統合小学校は、もしかすると決まってしまうのではないかという気がしている。

委員長 それはまだ先になると思う。その地区の方達で話し合った結果が反映されると思う。

委員長 それでは、委員の総意としてよろしいか。

異 議 な し （ 委 員 一 同 ）

委員長 では、漢字の「小川南」小学校を委員の総意とする。

事務局 「小川南」小学校という校名候補をいただいた。
そこで、校名の最終決定までの流れについて説明させていただきたい。10月に開催される教育委員会の定例会と12月に開催される市議会定例会において、それぞれ案として上程させていただく。市議会の議決をもって、最終決定となるので、承知いただきたい。

(2) 専門部会について

委員長 専門部会について、事務局より説明をお願いしたい。

資料3、4に基づき、事務局より説明。

事務局 資料3は各専門部会の運営の概要として構成委員の案、検討事項、検討の進め方、開催方法についてまとめた。1. 総務・通学部会について説明したい。構成案は、学校職員4名、PTA代表6名、地域代表4名としている。検討事項は資料に記載のとおり(1)～(8)の事項について検討を行う。検討の進め方は、平成29年度を検討期間とし、平成30年度には検討を行った事項の実施期間とできるように検討を進めていく。また、協議は調整する事項が多いと思われるスクールバスを優先し、あわせて通学体制、通学路等の検討を行うこととする。その他の事項の検討順序については、部会の中で決定したい。開催は委員会開催月と別月に行うこととし、専門部会で決定をした事項等を準備委員会へ報告できるように開催していく。また、開催の調整は

事務局で行うこととしたい。本年度、準備委員会の開催は11月と平成29年1月を予定しているので、総務・通学部会の最初の開催は10月を予定したい。また、専門部会の検討内容を準備委員会で報告することになるので、専門部会で協議が整わない場合等により、準備委員会の開催予定に変更が生じることがある。了承いただきたい。

次に2. 学校運営部会について説明したい。構成案は、学校職員6名としている。検討事項は資料のとおり(1)～(4)の事項について検討を行う。検討の進め方及び開催については、小中一貫教育推進委員会(仮称)の開催と調整して開催するとしており、学校職員に調整いただき、随時開催としていただきたい。

3. PTA部会について説明したい。構成案は、学校職員2名、PTA代表4名としている。検討事項は資料のとおり(1)～(3)の事項について検討を行う。検討の進め方は、平成31年度から開始する新しい学校のPTA組織が支障なく運営できるように検討を進めていく。開催については構成する委員で調整を行うこととしたい。

以上が専門部会運営の概要となる。本日は部会の構成人数について協議をお願いしたい。

なお、PTA代表の委員は2つの部会、学校職員の委員は3つの部会に分かれることになる。この準備委員会終了後、所属区分毎に専門部会の構成について協議を行っていただきたいと考えている。

また、資料4、スケジュールをご覧いただきたい。

資料4-1、総務・通学部会のスケジュール案に沿って説明したいと思う。詳細については部会の中で説明したいと思うので、概要としたい。黒の実線矢印が準備委員会、部会、事務局が活動する箇所となる。また、点線が業者等に委託した際、業者が準備する期間等の印。総務・通学部会は10月から開催することを予定している。基本的には来年度に協議が行えるようにスケジュールを組んでいる。そして、平成30年度に協議した内容が実施できるよう、検討を行っていきたいと考えている。

次に資料4-2をご覧いただきたい。学校運営部会のスケジュールの中に小中一貫教育推進委員会(仮称)の開催と調整して開催すると記載している。学校職員による調整の上、開催を随時お願いしたい。PTA部会は、平成29年度の新委員が決まった後に協議を始め、新しい学校の開校までに各事項について検討いただきたいと考えている。

委員長 事務局より説明があったが、私から提案をさせていただきたい。部会の構成人数について。統合準備委員会の委員構成の中で学校職員は各学校から3名ずつ委員となっているため、計6名。提示された案では、のべ12名が必要になってくる。部会の構成人数の変更を提案したい。総務・通学部会には学校職員2名、学校運営部会には学校職員4名、学校運営については、資料に記載されたものの他に「生活のきまり」や「総合的な学習の時間の連携」、平成30年度から「道徳」の教科化が始まることなど、様々なことが出てくると思う。それら話し合わなくてはならないことが多くあるので、校内の他の職員も含めて協議することが必要となってくる。部会としては4名とし、動きやすい体制で協議を進めていきたい。

P T A代表についてもメインはP T A部会の仕事になるので、各学校2名よりも3名の方が話し合いが進みやすいのではないかと思います。総務・通学部会を4名、P T A部会を6名とするといかがでしょうか。P T A代表の委員は10名いるので、4人と6人に分かれ、かつ重複がない構成が良いのではないかと思います。

また、規約の中にあるように、市議会議員と幼稚園P T Aは部会に入らないということで良いか。

事務局 そのようになっている。

委員長 人数の構成について、意見のある委員がいればお願いしたい。また、スケジュールについても意見があればお願いしたい。意見がない場合は、この委員会を閉会し、部会毎に部会長と副部会長を決めていきたい。

委員 学校職員何名、P T A何名、地域代表何名と分かっているが、誰がどこに入るか分からない。事務局案があればお願いしたい。

事務局 参照と記載された資料を見ていただきたい。これは統合準備委員会の設置要綱となっている。専門部会についての項目、別表には先ほど説明があった総務・通学部会、学校運営部会、P T A部会について記載されている。右欄に委員構成がそれぞれ書かれており、P T A代表が総務・通学部会とP T A部会に分かれている。まずは、P T A代表の中で各委員がどの部会に入るかを話し合っただき、分けたいと考えている。

委員長 学校職員でも話し合いを行い、校長2名が総務・通学部会に入り、学校運営部会は教育課程等なので教頭と教務主任が入りたいと思う。P T A部会は教頭もしくは教務主任として、教頭1名、教務主任1名が入りたいと思う。そういった形で進めさせていただきたいと思う。よろしいか。

委員 P T Aの中で話し合うということかと思う。

委員長 地域の方は総務・通学部会となる。

その他にかが。

では、本日の議事は終了したいと思う。

【その他】

事務局 本日の準備委員会は一旦閉じたいと思う。説明が重複する部分があるかと思うが、この後の進行について、説明させていただきたい。この後は各専門部会の編成を行っていただくことになっている。先ほど、資料、参照における別表の項目毎に編成をいただくことになる。表を見ていただくと、それぞれ学校関係者、P T A代表、地域代表となっているので、識見者、幼稚園P T Aは以上で終了とさせていただきたい。

19:28 閉会